

【高等学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名 佐賀県立致遠館高等学校

達成度(評価) A:十分達成できている B:おおむね達成できている C:やや不十分である D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・スクールミッションに基づき、「知・徳・体」のバランスのとれた教育の推進のための具体的な取組が概ね実践できているが、生徒の自発的学習習慣の定着と自宅学習の充実を図る必要がある。
・ふるさと佐賀を誇りに思い愛着が持てる生徒や自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合が増やすとともに、本校の魅力を外都へ多く広く発信する方策を考える必要がある。
・第IV期のために入るとSSH事業のさらなる充実と教員の指導力の向上のための研修等の充実が必要である。一方で、働き方改革と働きやすい職場づくりの推進にさらに努めていく必要がある。

2 SAGAスクール・ミッション 学校教育目標
○中部地区の県立高一貫教育校として、これからの時代を見据えた6年間のカリキュラムに基づく教育実践を更に充実させる。
○理数科・普通科併置の特徴を生かし、未来社会の文化の創造と発展に力をつくす、科学技術人材・グローバル人材を育成する。

3 スクール・ポリシー
(1) 自らの「夢」を実現するために、主体的に学習活動に取り組み、将来、社会に貢献しようという意欲のある生徒
(2) 部活動や生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に参加し、勉学と両立することができる生徒
(3) 普通科:広く社会に関心を持ち、将来は地域社会や国際社会の発展に寄与したいという意欲のある生徒
理数科:理数教科に強い興味を持ち、将来は科学技術の発展に寄与したいという意欲のある生徒
(1) 併進併行のもと、知・徳・体の調和のとれた人材の育成を目指した教育活動の実践
(2) 組織的・系統的な指導体制のもと、生徒一人一人の個性や能力を最大限に引き出すための多様な柔軟な教育活動の実践
(3) 主体的な学びを重視した教科指導のもと、探究活動・課題研究を軸とした教員職務的な学びの推進
(4) 学校行事や生徒会活動、部活動、ボランティア活動などへの積極的な参加を促すことによる協働かつ体験的な学びの推進
(5) 科学技術人材・グローバル人材の育成のために、SSH事業等による大学・企業等と連携した多様な研修の実施
(1) 知・徳・体の調和のとれた生きる力の育成
(2) 自己の希望進路を実現する確かな学力と社会に貢献しようとする高い志の育成
(3) 世界に目を向け、未来を切り拓くこととする進取の気性と創造力の育成
(4) 互いを尊重し、他者を思いやり豊かな人間性の育成
(5) 多様な人々と協働し、課題を見出し解決する探究力の育成

4 本年度の重点目標
① 「知・徳・体」つまり「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」バランスのとれた教育の推進
② 「生きる力」つまり自分で考え適切に判断して行動できる力の醸成
③ 「主体的・対話的で深い学び」の実践とコミュニケーション能力に富む人材の育成
④ 教職員にとって働きやすくやりがいを感じる職場づくり

5 重点取組内容・成果指標 (1)共通評価項目

Table with 10 columns: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 進捗度(評価), 進捗状況と見通し, 達成度(評価), 実施結果, 評価, 学校関係者評価. Rows include 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 業務改善・教職員の働き方改革の推進, 特別支援教育の充実.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
Table with 10 columns: 評価項目, 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組, 進捗度(評価), 進捗状況と見通し, 達成度(評価), 実施結果, 評価, 学校関係者評価. Rows include 教育の質の向上, ◎志を高める教育, ★普通科教育の充実, ★理数科教育の充実.

6 総合評価・次年度への展望
・学校教育目標に基づいた本年度重点目標は概ね達成できたが、「自発的学習習慣の定着」「自宅学習の充実」と「業務効率化」についてはさらに推進が必要である。
・次年度に向けて、本年の取組をさらに強化させ「知・徳・体の充実に向けた教育活動を展開し、主体的な学びを重視した授業を構築していきたい」。
・本年度の「Learning Day」(体協)の学習習慣等養成目的の目標設定は、生徒の主体的な向上に効果的であった。次年度にも計画的に設定していきたい。
・各業務をさらに精選・改善することで、働きやすい職場づくりや働き方改革を今後も推進したい。